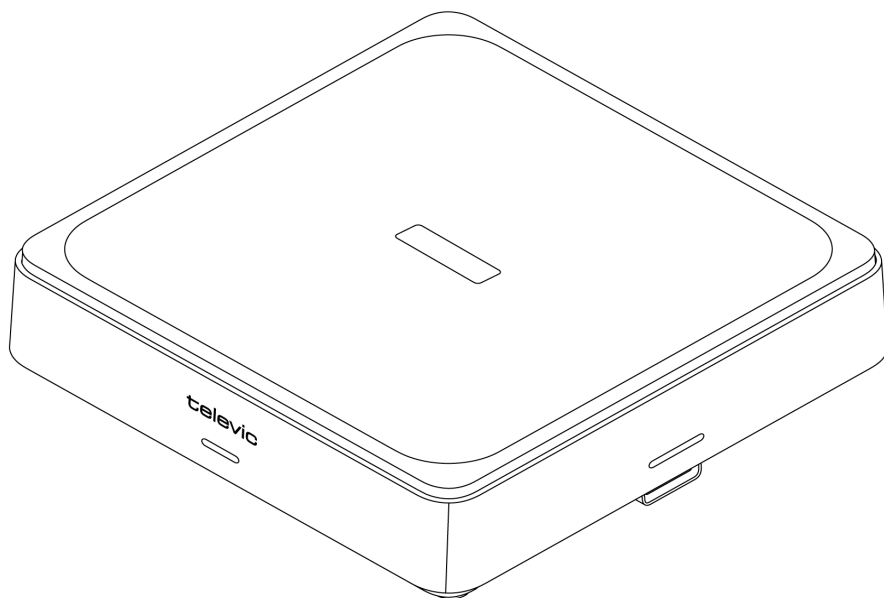


CONFIDEA FLEX G4

インストールガイド



著作権について

批評やレビューに利用される簡単な引用を除き、本書および本製品に付属する文書の一部または全部を発行者の事前の書面による許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製し、または翻訳、変形、翻案などの派生物を作成するために使用することを禁じます。内容は予告なく変更される場合があります。

著作権©2023Televic Conference NV.無断転載を禁じます。

本書の執筆者は、本書の作成にあたり、情報の正確性を確保するためにあらゆる努力を払っています。しかし、本書の情報は明示または黙示を問わず、その他のいかなる保証もいたしません。著者、Televic Conference NV、およびその販売店や代理店は、本書によって直接的または間接的に生じた、あるいは生じたと思われるいかなる損害についても責任を負わないものとします。

商標について

本書に記載されている商標またはサービスマークは、すべて適切に大文字で表記されています。Televic NVは、これらの情報の正確性を保証するものではありません。本書における用語の使用は、いかなる商標またはサービスマークの有効性にも影響を与えないものではありません。

序章

はじめに	6
このマニュアルについて	6
互換性	7
Confidea FLEX G4について	8

安全に関する注意事項

安全上の注意事項	10
安全	10
FCCおよびICESに関する情報	10
重要な安全上の注意事項	11
リチウム電池	14
一般的な適合性情報	16
電源 コネクタ	17

部品

はじめに	20
一般的なシステム構成	20
ワイヤレスアクセスポイント(WAP)	21
はじめに	21
インストール	21
接続と制御	23
RF信号 パターン	25
ワイヤレスユニット	26
はじめに	26
コントロールとインジケータ	26
動作距離	28
インストールユニット	28
ワイヤレスユニットの起動と停止	28
バッテリーパック	30
はじめに	30
コントロールとインジケータ	30
バッテリーの充電と取り扱い	31
容量インジケータ	31
インストール	32
バッテリー充電器	33
コントロールとインジケータ	33
充電LED	33
バッテリーパックの充電	34
マイク	35

はじめに	35
電気特性・音響特性	35
マイクロフォンコネクタ	36
インストール	36
操作方法	37
その他の機器	38
ケーブル	38
WAPと連動する機器	38

設置デザイン

無線ネットワークと周波数帯	40
無線LAN	40
Televic Confideaワイヤレスシステム	41
周波数帯域	41
WAPに無線ユニットを接続する	44
LED表示	44





設置手順

Confidea WAPの取り付け	46
Confidea WAPの取り付け位置	46
WAPの最大通信距離	46
Confidea G4 WAPの設置	46

はじめに

このマニュアルについて

このガイドでは、さまざまな種類の情報を指定するために、異なるアイコンを使用しています：

	こちらはメモです。LEDの色の意味など、追加情報を提供します。また、ある状況のみに適用される可能性のある情報を提供する場合があります。
	こちらはヒントです。特定のステップや手順を実行する際の代替方法を示したり、役立つオプションをお知らせしたりします。
	非常に重要な情報であることを示しています。あるタスクを達成するために必要な、とても大切な情報ということです。
	安全性に関する注意事項、つまり、当社のシステムを使用する際に起こりうる問題を防ぐために注意すべき情報を提供します。

互換性

このユーザーマニュアルは、次の製品に適用されます：

製品	バージョン
WAPソフトウェアバージョン	1.00
WAPファームウェアバージョン	1.00
Confidea FLEX G4	1.00

CONFIDEA FLEX G4について

Confidea Wireless G4は、ワイヤレス技術により、会議システムのセットアップの自由度を大幅に向上させます。基本システムは以下の要素で構成されています。

- ＞ ミニセントラルユニットとして機能する**Confideaワイヤレスアクセスポイント(WAP)** (A)
- ＞ 複数の**ワイヤレスユニット(WU)** (B)
- ＞ 付属の音声入出力端子(C)を使って、ハンドヘルド(ワイヤレス)マイク、ルームオーディオシステム、ビデオ会議システムなど、さまざまなオーディオシステムに接続することができます。
- ＞ **アクセスポイント**にはConferoウェブサーバー(E)が内蔵されており、デスクトップパソコンやノートパソコンからアクセスすることができます。
- ＞ LAN接続(D)でConfideaシステムとカメラ(F)をリンクさせます。

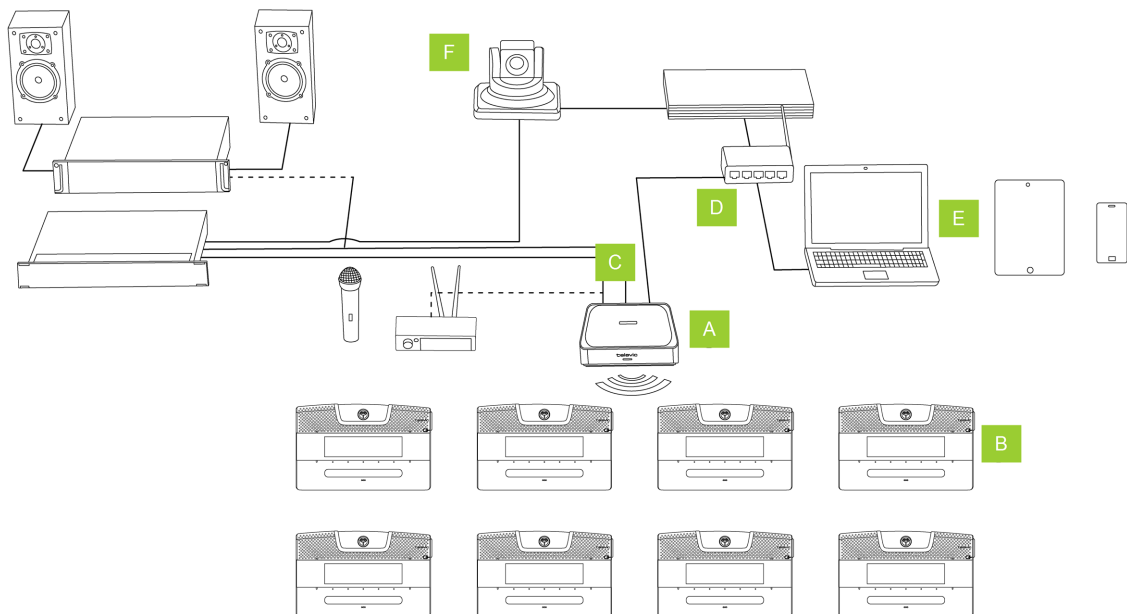


Figure 1-1 Confidea FLEX G4の設定

安全上の注意事項

この安全上の注意事項には、インテグレーター、インストーラー、オペレーター、エンドユーザー、その他 Televic Conferenceの資料をインストールまたは使用するすべての人が常に読み、従うべき一般的な安全ガイドラインが記載されています。

安全

Televic Conferenceシステムはすべて最新鋭の装置であり、あらゆる品質基準を満たすように設計されています。しかし、会議システムを構成する個々の部品は、次のような場合、人や物的資産に危険を及ぼす可能性があります。

- ＞ 会議システムが本来の目的で使用されていない場合
- ＞ 安全規則を熟知していない担当者によって会議システムが設置された場合
- ＞ 会議システムの変換や変更が誤って行われた場合
- ＞ 安全に関する注意事項が守られていない場合

FCCおよびICESに関する情報

(米国・カナダモデルのみ)

このクラスBのデジタル機器は、カナダ規格ICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

この機器は、FCC規則第15章に従って、クラスBデジタルデバイスの制限に準拠することが試験により確認されています。これらの制限は、住宅用設備における有害な干渉を適切に防ぐために設けられたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射することがあり、指示に従わずに設置、使用した場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合(装置の電源を切ったり入れたりすることで判断できる)、ユーザーは以下の手段の1つ以上によって干渉を修正するよう試みることを推奨されます。

- ＞ 受信アンテナの向きや位置を変える
- ＞ 機器と受信機の距離を離す
- ＞ 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する
- ＞ 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する

- ＞ 連邦通信委員会のマニュアル "How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems" を参照する

この機器は、カナダ・イノベーション科学経済開発省のライセンス免除RSSに準拠したライセンス免除送信機/受信機を含み、FCC規則第15章に適合しています。動作は以下の2つの条件を満たすことが必要です。

1. この機器は有害な干渉を引き起こさないこと
2. 機器は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れること

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

1. L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
2. L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.



Televic Conferenceによって明示的に承認されていない本機器の変更または改造を行った場合、本機器を操作するためのFCC承認が無効になる場合があります。

重要な安全上の注意事項

1. **指示書をお読みください**製品、装置、システムを操作する前に、安全ガイドおよび操作説明書をお読みください。
2. **保管**安全ガイドおよび操作説明書は将来参照できるように保管してください。安全ガイドおよび操作説明書を、製品またはシステムの近くに保管してください。
3. **警告**製品および取扱説明書に記載されているすべての警告を厳守してください。
4. **指示**設置、操作、使用にはすべての指示に従ってください。
5. **クリーニング**事前に本製品のプラグをコンセントから抜いてください。液体クリーナーやエアゾール式クリーナーは使用しないでください。クリーニングには、固く絞った布のみを使用してください。
6. **換気**装置のスロットや開口部は換気のためにあります。製品の信頼性の高い動作を確保し、過熱から保護するために設けられています。これらの開口部を塞いだり、覆ったりしないでください。本製品を椅子、テーブル、ラグなどの上に置くことで、開口部を塞いだりしないでください。適切な換

気が行われていない、または製造元の指示が守られていない限り、本製品を本棚やラックなどの組み込み型の設備に設置しないでください。

7. **熱源** 本製品は、ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の熱を発生する製品(アンプを含む)などの熱源から離れた場所に設置してください。標準動作温度を超える環境で使用や操作をしないでください。
8. **改造** 製造元が推奨しない改造、増設などのアタッチメントは、危険を招く恐れがありますので、実施しないでください。
9. **付属品** メーカー指定のアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。本製品を不安定なカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルの上に置かないでください。製品が落下して、子供や大人が重傷を負ったり、製品に重大な損傷を与えたりする可能性があります。本製品は、製造元推奨のカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブル、または製品と一緒に販売されているもののみを使用してください。本製品の取り付けは、メーカーの指示に従い、メーカー推奨の取り付けアクセサリを使用してください。
10. **水気・湿気** 水の近くや湿気の多い場所では使用しないでください。
11. **移動** 台車で製品を移動する際はご注意ください。急停止や過度の力が加わったり、地面に凹凸があったりすると、製品が横転することがあります。
12. **電源** 本製品は、マーキングラベルに表示されている電源の種類でのみ使用してください。室内の電源の種類がわからない場合は、販売店または地域の電力会社にご相談ください。バッテリー電源やその他の電源での使用を目的とした製品については、マニュアルを参照してください。
13. **電力線** 屋外システムは、架空送電線やその他の電灯や電源回路の近くに設置する、あるいはそのような送電線や回路に落下する可能性のある場所には設置しないでください。屋外システムを設置する際には、そのような電力線や回路に触れないように細心の注意を払ってください。命に危険を及ぼすおそれがあります。米国モデルのみ - CATVシステムの設置については、米国電気工事規定第820条を参照してください。
14. **接地・非接地** 非接地型または接地型プラグの安全目的を損なわないようにしてください。非接地プラグには2つのブレードがあり、一方のブレードは他方のブレードよりも幅が広がっています。接地タイプのプラグは、2つのブレードとGND極があります。幅広のブレードおよびGND極は安全のためにあります。付属のプラグがコンセントに入らない場合、電気設備業者に相談しコンセントを交換することを推奨します。
15. **電源コードの保護** 電源コードは、プラグ、電源タップ、および製品から出るコードに特に注意を払い、それらの上に置かれた、または接触しているものに踏まれたり挟まれたりする可能性がないように配線する必要があります。

16. **落雷**落雷時や、長期間放置して使用しない場合は、本製品を保護するために、壁のコンセントからプラグを抜いてください。これにより、落雷や電力線サージによる本製品の損傷を防ぐことが可能です。(避難装置など特殊な機能を維持する場合は対象外)
17. **過負荷**火災や感電の危険性があるため、壁のコンセント、延長コード、電源タップに過大な負荷をかけないでください。
18. **物体や液体の侵入**部品がショートにより火災や感電の原因となるため、電圧源に触れたり、開口部から物を押し込んだりしないでください。また、本製品に液体をこぼさないでください。
19. **引火性・爆発性のある物質**ガスのある場所や、引火性・爆発性物質のある場所での使用は避けてください。
20. **強い衝撃や振動**本製品を持ち歩 く際には、強い衝撃や振動を与えないようにしてください。
21. **整備**カバーを開けたり外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性がありますので、ご自身で本製品の修理を行わないでください。すべての整備は、資格のあるサービス担当者に依頼してください。
22. **製品のダメージ**次のような場合には、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、資格のある保守担当者に依頼してください。
 - a. 電源コードやプラグが破損している場合
 - b. 製品内部に液体・固体の異物が浸入してしまった場合
 - c. 雨や水にさらされた場合
 - d. 取扱説明書に従って操作しても正常に動作しない場合。取扱説明書に記載されている操作のみ行ってください。不適切な操作は損傷の原因となり、製品を正常な動作に戻すためには、資格を持った技術者による大掛かりな作業が必要となることがあります。
 - e. 落下や破損があった場合
 - f. 製品がパフォーマンスに明確な変化を示す場合 - この場合、保守を受ける必要があります。
23. **パーツの交換**交換パーツが必要な場合は、サービス技術者がメーカー指定の交換部品を使用しているか、元の部品と同じ特性を持っていることを確認してください。無断で交換すると、火災、感電、等の危険性があります。
24. **安全確認**本製品のサービスや修理を完了する際は、技術者に安全点検を依頼し、適切な動作状態にあるかどうかを確認してください。

リチウム電池



電気に関する誤った使用方法

- ＞ 充電は専用の充電器でのみ行ってください。
- ＞ 直接コンセントやシガーライターの充電器で充電しないでください。
- ＞ 極性反転して充電しないでください。

環境に関する誤った使用方法

- ＞ 電池を火気や加熱された場所に近づけないでください。
- ＞ 電池を火の中に投げ込まないでください。
- ＞ 内部の温度が60°C以上または-20°C以下になるような環境下において、製品を放置したり、充電したり、使用しないでください。
- ＞ バッテリーを水に浸したり、投げたり、沈めたりしないでください。

その他

- ＞ 電池をポケットやバッグに入れて、鍵、ネックレス、ヘアピン、コイン、ネジなどの金属製のものと一緒に保管しないでください。
- ＞ (+)端子、(-)端子を故意に金属物でショートさせないでください。
- ＞ 針やドライバーなどの鋭利なもので電池を突き刺さないでください。
- ＞ はんだごてなどの熱したもので電池の部品を加熱しないでください。
- ＞ ハンマーなどの重いものでバッテリーを叩かないでください。
- ＞ 機械的な衝撃を避けるため、バッテリーを踏んだり、硬い床に投げたり落としたりしないでください。
- ＞ 電池の分解や電気回路を含む電池設計の変更はしないでください。
- ＞ 電池に直接ハンダ付けしないでください。
- ＞ 重度の破損や変形したバッテリーは使用しないでください。

- ＞ 電子レンジ、乾燥機、高圧容器に電池を入れないでください。
- ＞ 他の製造業者の電池、乾電池、ニッケル水素電池、ニカド電池などの異なる種類やモデルの電池と一緒に使用したり、組み立てたりしないでください。
- ＞ 新しい電池と古い電池と一緒に使用したり、組み立てたりしないでください。



警告

- ＞ 指定された時間内に充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ＞ 使用中、充電中、保管中に電池が異常に高温になったり、変色や変形、異常な状態になった場合は、使用を中止してください。
- ＞ 液漏れや悪臭を感じたら、すぐに火気から遠ざけてください。液が皮膚や衣服についた場合は、すぐに真水でよく洗ってください。
- ＞ 電池から漏れた液体が目に入った場合は、目をこすらずにきれいな水で洗って、すぐに医師の診察を受けましょう。
- ＞ バッテリーの端子が汚れた場合は、乾いた布で拭いてから使用してください。
- ＞ 電池は以下の温度範囲内で使用可能です。これらの範囲を超えないようにしてください。
 - ＞ 充電中：5～45℃
 - ＞ 放電中：-20～60℃
 - ＞ 保管中：0～60℃
- ＞ 廃棄する際は適切な絶縁テープで端子を覆ってください。



注意

電気に関する誤った使用方法

- ＞ バッテリーは定電流定電圧(CC/CV)で充電する必要があります。
- ＞ 充電電流はセルの仕様で指定された値で制御する必要があります。
- ＞ カットオフ電圧は4.2Vでなければなりません。

- ＞ 充電器は、セルの仕様で指定された充電時間または電流を検出して充電を停止する必要があります。
- ＞ 放電電流は、セルの仕様で指定された値で制御する必要があります。
- ＞ 放電のカットオフ電圧は 2.5V 以上でなければなりません。

その他

- ＞ バッテリーや充電ケースを使用する前に、マニュアルを読み、取り扱い上の注意事項を確認してください。
- ＞ バッテリーの使用時間が通常よりも短くなった場合は、バッテリーを交換してください。
- ＞ 破棄の際は接点部を絶縁テープで覆ってください。
- ＞ 電池を長期間保管する必要がある場合は、本体から電池を取り外し、湿度や温度が低い場所に保管してください。
- ＞ 充電して使用して保管している間は、静電充電器で物体の材料から遠ざけてください。

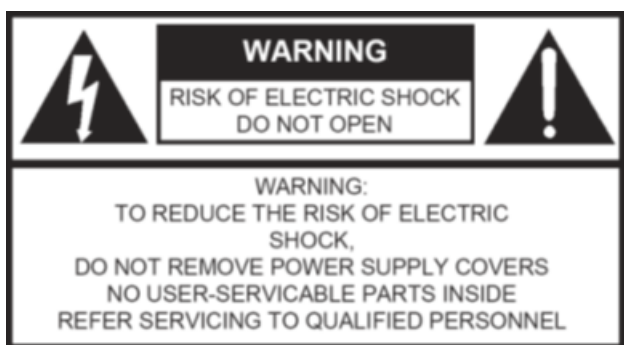
一般的な適合性情報

Confideaワイヤレス会議システムは、以下の規格に準拠しています。

- ＞ ETSI EN 300 328 V.2.2.1 (2019-04)
- ＞ EN 301 893 V.2.1.1 (2017-05)
- ＞ EN 300 440 V.2.1.1
- ＞ IEC 62368-1:2018
- ＞ IEC 62368-3:2017
- ＞ EN 62311:2008 理事会勧告 1995/519/IEC
- ＞ EN 301 489-1 V.2.1.1
- ＞ EN 301 489-17 V.3.1.1(2016-11)
- ＞ SO/CD 22259

電源 コネクタ

常時電源に製品を接続する場合は、電源切断のできる装置を固定配線に組み込み、容易にアクセス可能でなければなりません。プラグ可能な機器の場合は、ソケットアウトレットを機器の近くに設置し、容易にアクセス可能でなければなりません。



このラベルはスペースの都合上、装置の底面に表示される場合があります。



この正三角形と稲妻のマークは、製品の筐体内に人が感電する危険性を構成するのに十分な大きさの、絶縁されていない「危険な電圧」が存在することをユーザーに警告しています。



この正三角形と感嘆符のマークは、本機に付属する文献の中に重要な操作およびメンテナンス(サービス)上の指示があることをユーザーに知らせるものです。



火災や感電の危険性を減らすために、この機器を雨や湿気にさらさないでください。また、筐体を開けないでください。すべての整備は、資格のあるサービス担当者に依頼してください。



感電防止のため、刃が露出しないように刃を十分に差し込める場合を除き、この(分極)プラグを延長コードレセプタクルなどのコンセントに接続して使用しないでください。



機器の設置は、国家電気標準規格または適用される地域の法令に従い、資格のある担当者のみが実施してください。



機器の設置は、国家電気標準規格または適用される地域の法令に従い、資格のある担当者のみが実施してください。

はじめに

一般的なシステム構成

部品

Confidea FLEX G4は、堅牢な無線回線で会議機能を提供するワイヤレス会議システムです。ライセンスと設定によっては、基本的な会議、投票、言語配信などの機能をご利用いただけます。

本機は卓上型のユニットで、**WAP G4**と呼ばれる**無線アクセスポイント**に無線接続を行います。この**アクセスポイント**には強力なWebサーバーが内蔵されており、どのPCからでもChromeやFirefoxを使ってシステムの設定や監視を行うことができます。

ワイヤレスアクセスポイント(WAP)

はじめに

ワイヤレスユニットとの通信は、すべて**WAP**によって制御されています。

インストール

壁面取付け

WAPを壁に取り付けるには、いくつかの方法があります。

壁掛け用穴を使う

WAPは、本体底面にある2つの曲がった固定穴を使って壁に取り付けることができます。事故を未然に防ぐため、"Confidea WAPの取り付け" on page 46の取扱説明書を参考にしながら、壁に取り付けてください。

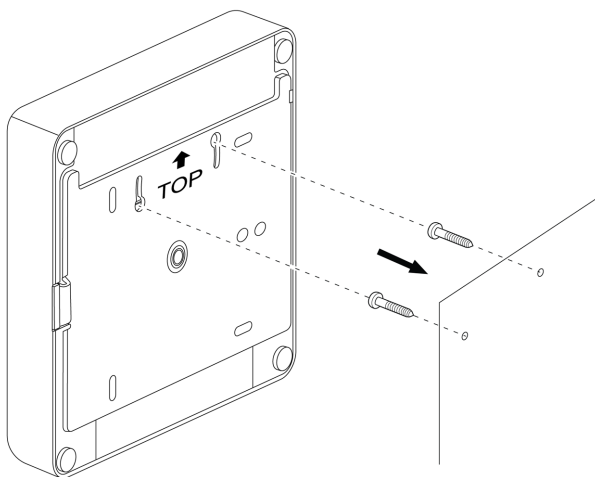


Figure 1-2 Confidea FLEX G4WAPの壁への取り付け方法

WAPの底板を壁に固定する

WAPは、本体底面にある4つの固定用穴を利用して壁面に設置することができます。事故を未然に防ぐため、"Confidea WAPの取り付け" on page 46の取扱説明書を参考にしながら、壁に取り付けてください。

WAPを取り付けるには、まず底板の片側にスライドさせます。その**WAP**を反対側にクリックで固定することができます。

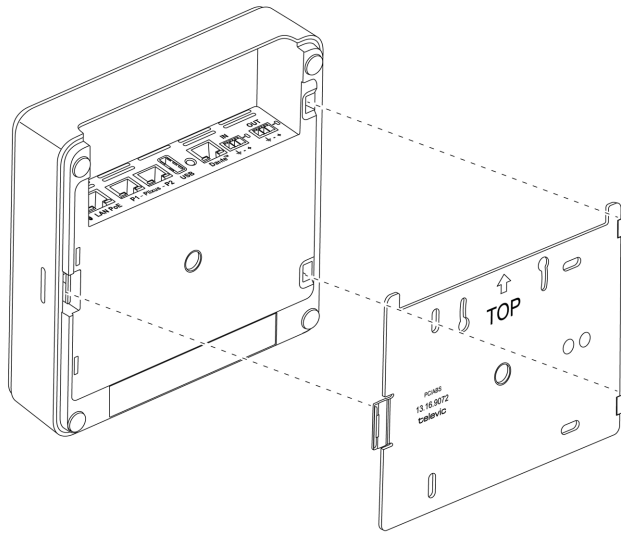


Figure 1-3 Confidea FLEX G4WAPの底面を壁に固定する方法

スタンド取り付け

WAPはスタンドに取り付けることも可能です。アクセスポイントに挿入するアダプターのスクリューはUNC 3/8"です。スクリューの深さは最大10mmです。

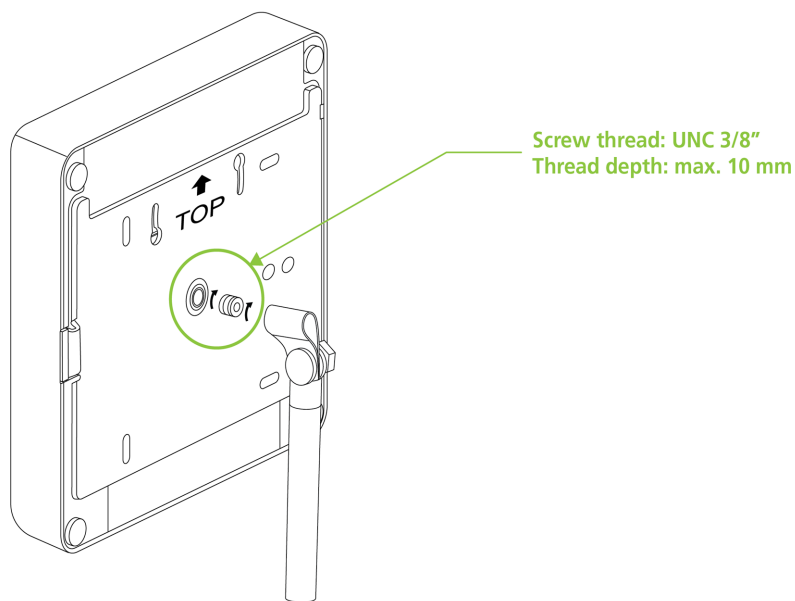


Figure 1-4 WAPのスタンドへの取り付け方法

接続と制御

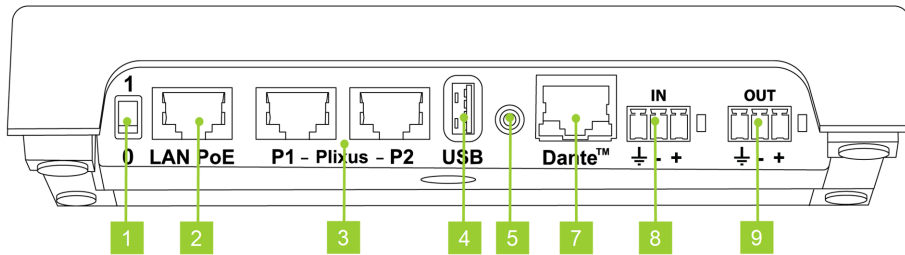


Figure 1-5 *Confidea WAP*接続



Figure 1-6 *Confidea WAP* LED

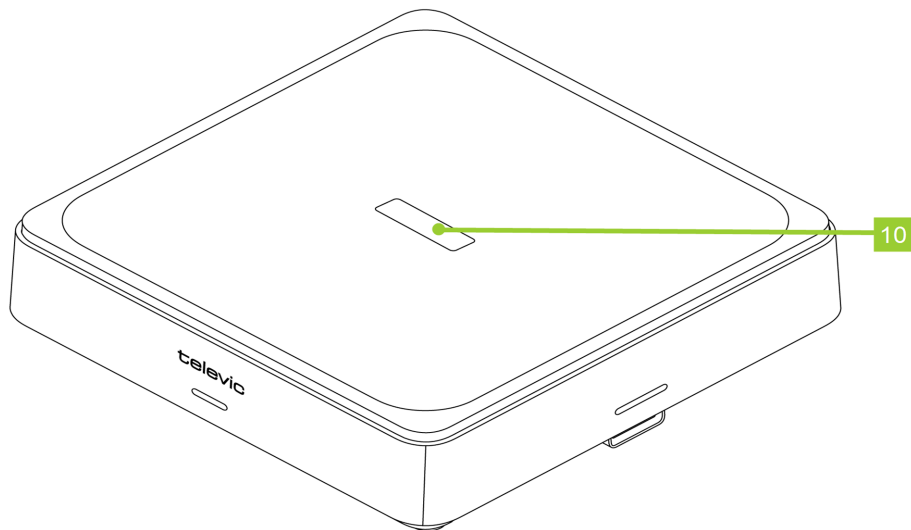


Figure 1-7

Figure 1-8 *Confidea WAP* ディスカバリーモードボタン

1. **電源スイッチ:**WAPの電源は、WAP背面の電源スイッチで切り替えることができます。
2. **LAN PoE:**PCとのLAN接続は、PoE+ケーブルにWAPの電源も兼ねています。
3. **プリクサス会議用ネットワークポート:**Plixus会議バスとの接続は、WAP背面のRJ45 - コネクタで行います。
4. **USBポート:**USBポートにストレージデバイスを差し込むことで、WAPのストレージを拡張できます。
5. **リセットボタン:**リセットには、「IPアドレスのリセット」「工場出荷時の設定に戻す」「ゴールデンモードにする」の3つのモードがあります。
 - a. **短押し(5秒):**IPアドレスをデフォルトに戻し、802.1Xの設定を削除し、パブリックAPIのWAP証明書を削除します。
 - b. **長押し(20秒):**WAPを工場出荷時の状態に戻します。
 - c. **起動時にプッシュ:**WAPをゴールデンモードに設定します。ゴールデンモードでは、WAPの更新のみが可能で、その他の機能はすべて無効になります。



ゴールデンモードへのリセットは、**技術的な目的のため**にのみ行ってください。エンドユーザーが起動時のプッシュ操作に進むことは推奨されません。

6. **ステータスLED:**LEDの状態の詳細については、以下を参照してください。
7. **Dante接続:**WAPは、LANケーブルでDanteネットワークに接続することができます。Danteは1Gbitのみで、100Mbit以外のリンク速度には対応していません。
8. **アナログ入力端子:**システムに音を送るバランス入力です。システムに音が入るたびに右側の小さなLEDが点灯します。
9. **アナログ出力端子:**システムから音を送るバランス出力です。システムから音が出るたびに右側の小さなLEDが点灯します。
10. **ディスカバリーモードボタン:**ボタンを押すと、WAPのディスカバリーモードのON/OFFが切り替わります。

LED意味

LED	説明
オフ	WAPの電源が切れているか、電源が入っていません。
白い光が点滅	WAPが起動しています。
緑の光が点滅	WAPは標準ベアリングモードで、ディスカバリーがオンになっています。

LED	説明
緑の光が点灯	WAPは標準ペアリングモードで、ディスカバリーはオフになっています。
青い光が点滅	WAPは結合され、標準ペアリングモードで、ディスカバリーがオンになっています。
青い光が点灯	WAPが結合され、標準ペアリングモードで、ディスカバリーがオフになっています。
赤い光が点滅	WAPが故障しているため サポートに連絡してください 。
赤と緑の光が交互に点滅	WAPがゴールデンモードになっています。WAPを更新して解決してみてください。問題が解決しない場合は、 サポートに連絡してください 。
オレンジ色の光が点滅	WAPはアップデートしています。
オレンジ色の光が点灯	システムはアップデートしています。

RF信号パターン

WAPに配置された3つのアンテナが、特定のパターンでRF信号を生成し、受信します。空中に送信される信号経路の数を最大化し、無指向性の放射パターンを提供することで、40m(130フィート)の範囲を確保します。

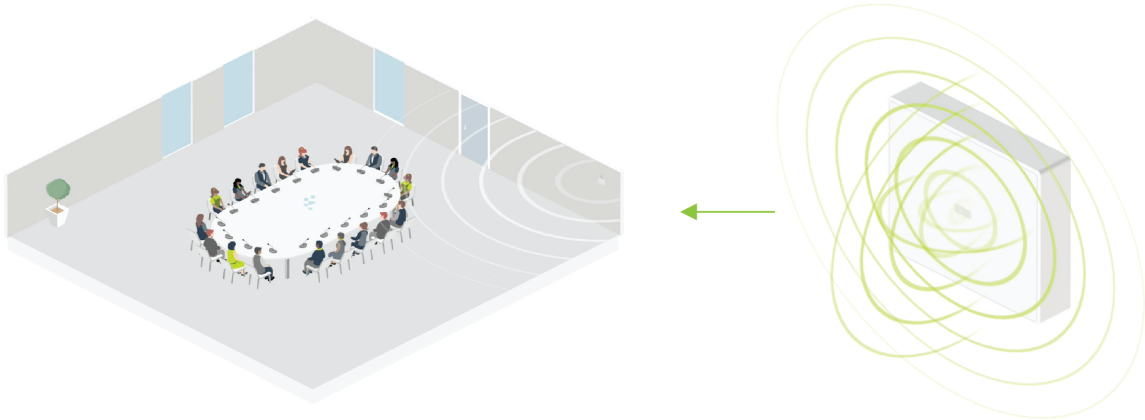


Figure 1-9 全方位型RF信号パターン

ワイヤレスユニット

はじめに

ワイヤレスユニットは、**参加者用**、**VIP用**、**議長用**として設定できます。いずれも会議室でのスピーチ補強に使用します。**VIP用**として設定されているユニットは、優先ユニットです。**議長用**に設定されたユニットは、優先ユニットでもあり、進行中の議論を誘導し、コントロールするために使用されます。

コントロールとインジケータ

Confidea FLEX G4ワイヤレスユニットには、次のような特長があります。

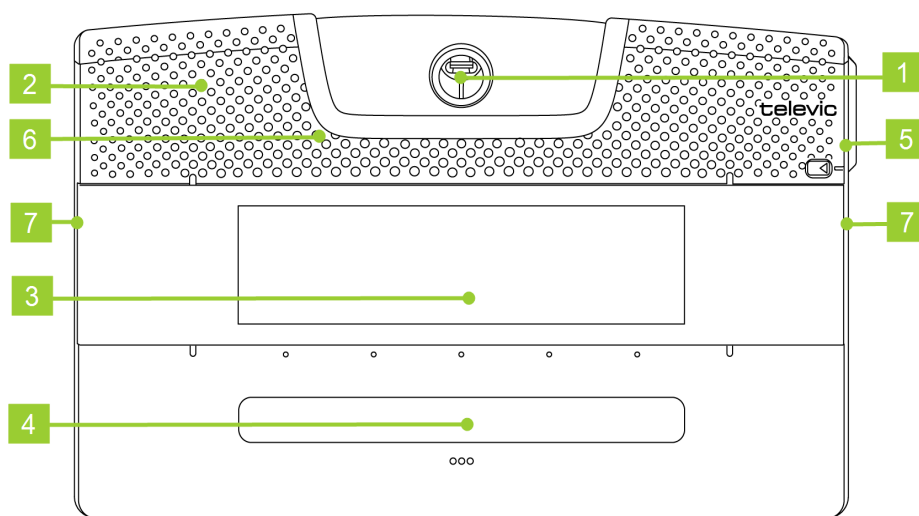


Figure 1-10 すべてのオプションを装着した**Confidea FLEX G4**ワイヤレスユニットの正面図

番号	名称	説明
1	マイクロホン端子	ワイヤレスユニットにマイクを接続します。
2	拡声器	フロアチャンネルを配信します。マイクがアクティブな場合は、ミュートします。
3	ユーザーインターフェース	ワイヤレスユニットの機能を利用できるタッチスクリーンです。
4	マイクボタン	マイクをコントロールします。機器の電源が切れているときに、LEDが点灯するまでこのボタンを押すと電源が入ります。
5	キーカードスロット	RFIDカード用のカードリーダーです。
6	光センサー	タッチスクリーンの明るさを環境照明に合わせます。

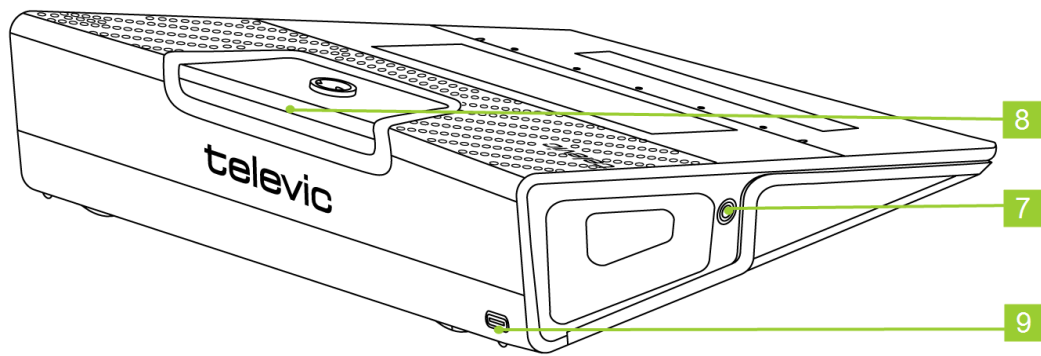


Figure 1-11 すべてのオプションを装着したConfidea FLEX G4ワイヤレスユニットの背面図と左側面図

番号	名称	説明
7	ヘッドフォンコネクタ	ワイヤレスユニットにヘッドホンを接続します。モノラル、ステレオのヘッドホンが使用できます。本体の左右両側面には、ヘッドホン端子を備えています。
8	マイクの状態表示LED	マイクの状態を示す表示LED: 赤 = アクティブ、緑 = リクエスト。
9	USB-C接続	本機をノートパソコンなどの電源に接続します。 推奨 ケーブル: 28AWG/1P + 24AWG/2C



範囲外のユニットは5分後にスイッチが切れます。

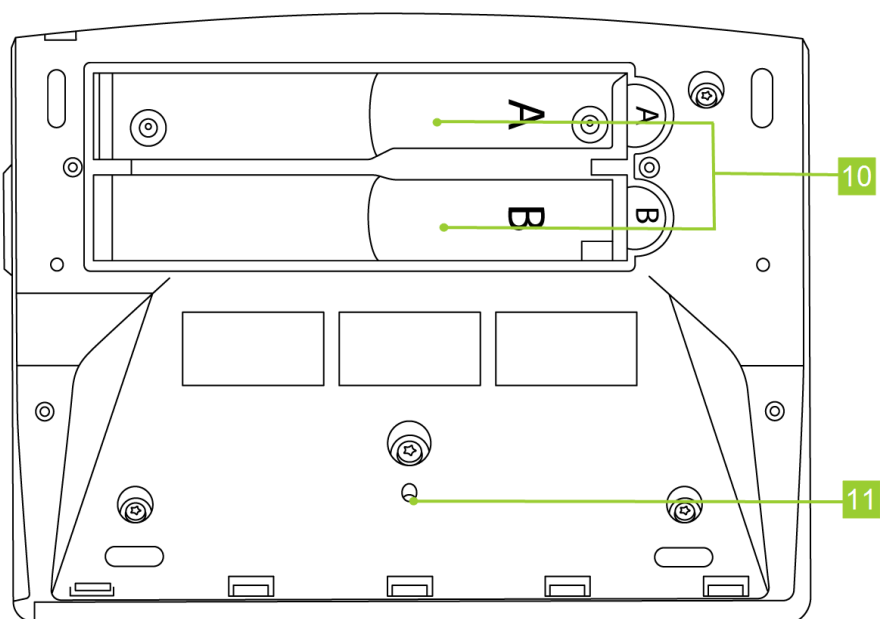


Figure 1-12 すべてのオプションを装着したConfidea FLEX G4ワイヤレスユニットの底面図

番号	名称	説明
10	バッテリー	電池は1本でも2本でも使えます。電池を2本使用することで、本機の使用時間を延ばすことができます。
11	リセットボタン	リセットボタンはトラブルシューティングのために使用します。

動作距離

動作距離はWAPの周波数設定に依存します。WDUはWAPから1.5m以上離れている必要があります。

地域	最大周波数出力
北米地域	TBC
アジア太平洋地域	TBC
日本	TBC
アフリカ+ その他の地域	TBC
南米	TBC

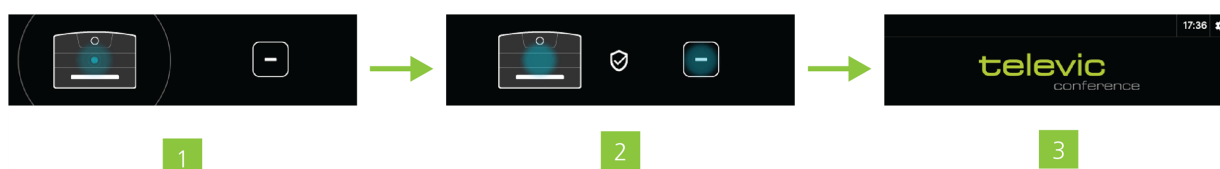
インストールユニット

ワイヤレスユニットを使用するには、まず電池とマイクを取り付けます。操作方法は、"バッテリーパック" on page 30および"マイク" on page 35をご覧ください。



本機の不要な動作を避けるため、電池を取り外してください。機器は清潔で乾燥した場所に保管してください。

ワイヤレスユニットの起動と停止



ワイヤレスユニットを起動するには、マイクボタンを1秒間押します。スピーカーLED3個と本体背面のLED2個が緑色に点灯します。

接続中は、タッチスクリーンに起動時のアニメーションが表示され、その後、接続時のアニメーションが表示されます[1]。

WAPとの接続が確立すると、アニメーションが変化します[2]。

これで機器には通常の画面が表示されます[3]。

機器は接続が切れると、同**WAP**に接続しようとします。そ**WAP**が利用できない場合は、他の**WAP**への接続を試行します。5分経過しても接続が確立されない場合は、バッテリーを節約するために自動的に電源が切れます。マイクボタンを押すと、機器が再起動します。

バッテリーパック

はじめに

バッテリーパックは、**Confidea FLEX G4**ワイヤレスユニットで使用します。

出力電圧	7.2V
容量	3350 mAh
充電時間	2時間
66%までの急速充電	1時間
最大充電電圧	8.4V
充電電流	1.7 A
駆動時間	約12時間
充電回数	満充電500回



リチウム電池を使用する前に、安全上の注意をお読みください。

コントロールとインジケータ

バッテリーパックの内容

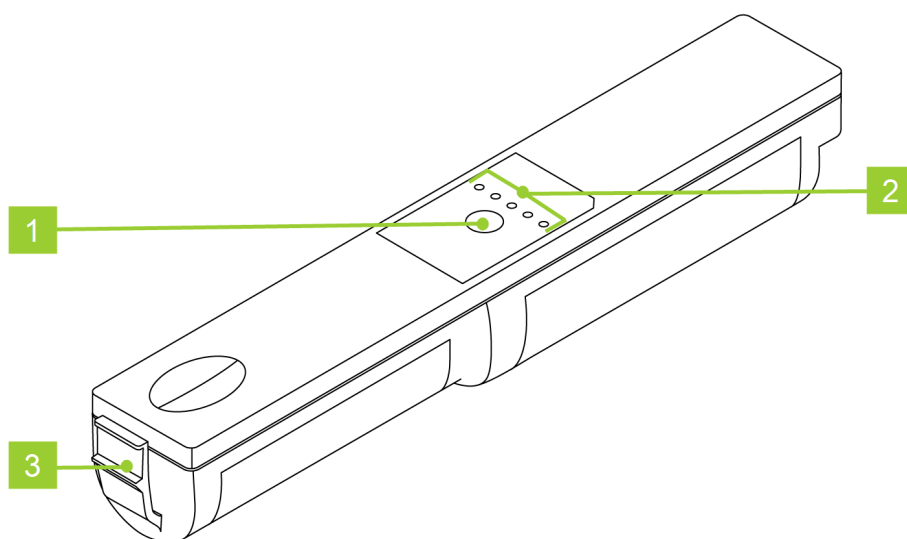


Figure 1-13 **Confidea FLEX G4**バッテリーパックの底面を上にした状態

1. テストボタン: バッテリーパックの容量を確認するときに押します。
2. 容量インジケータ: バッテリーパックの容量を示すLEDです。
3. クリップ: ワイヤレスユニットのバッテリーパックのロック/ アンロックを行います。

バッテリーの充電と取り扱い

- **Confidea**バッテリーパックを受け取ったら、すぐに充電してください。
- バッテリーパックの残量が20%以下になったら、すぐに充電してください。このときバッテリーパックのLEDが赤く点滅します。
- 空のバッテリーパックは、30日以内に充電する必要があります。
- 空のバッテリーパックを**参加者用**ユニットに入れたままにしないでください。
- リチウムイオン電池の寿命を最大限に延ばすためのベストプラクティスは、使用と使用の間の電池を充電トレイに保管し、適切な換気を行うことです。



Confideaバッテリーパックの充電は、指定の充電器以外では行ってはいけません。



バッテリーパックは、完全に消耗すると寿命に大きな影響を及ぼします。**参加者用**ユニットを保管したり、しばらく使用しない場合は、バッテリーパックを取り外して充電器にセットしてください。

Confidea FLEX G4バッテリーパックは、温度0℃～60℃、相対湿度5%～75%で正しく保管してください。

容量インジケータ

インジケータは5セグメントLEDです。最初のLED(LED1)は赤色で、電池の容量が少ないことを示します。充電量が多いほど、点灯するLEDの数が多くなります。

インジケータは以下のとおり	充電残量を示します。
LED1(赤)	0-20%
LED2(オレンジ)	20-40%
LED3(オレンジ)	40-60%
LED4(緑)	60-80%
LED5(緑)	80-100%

インストール

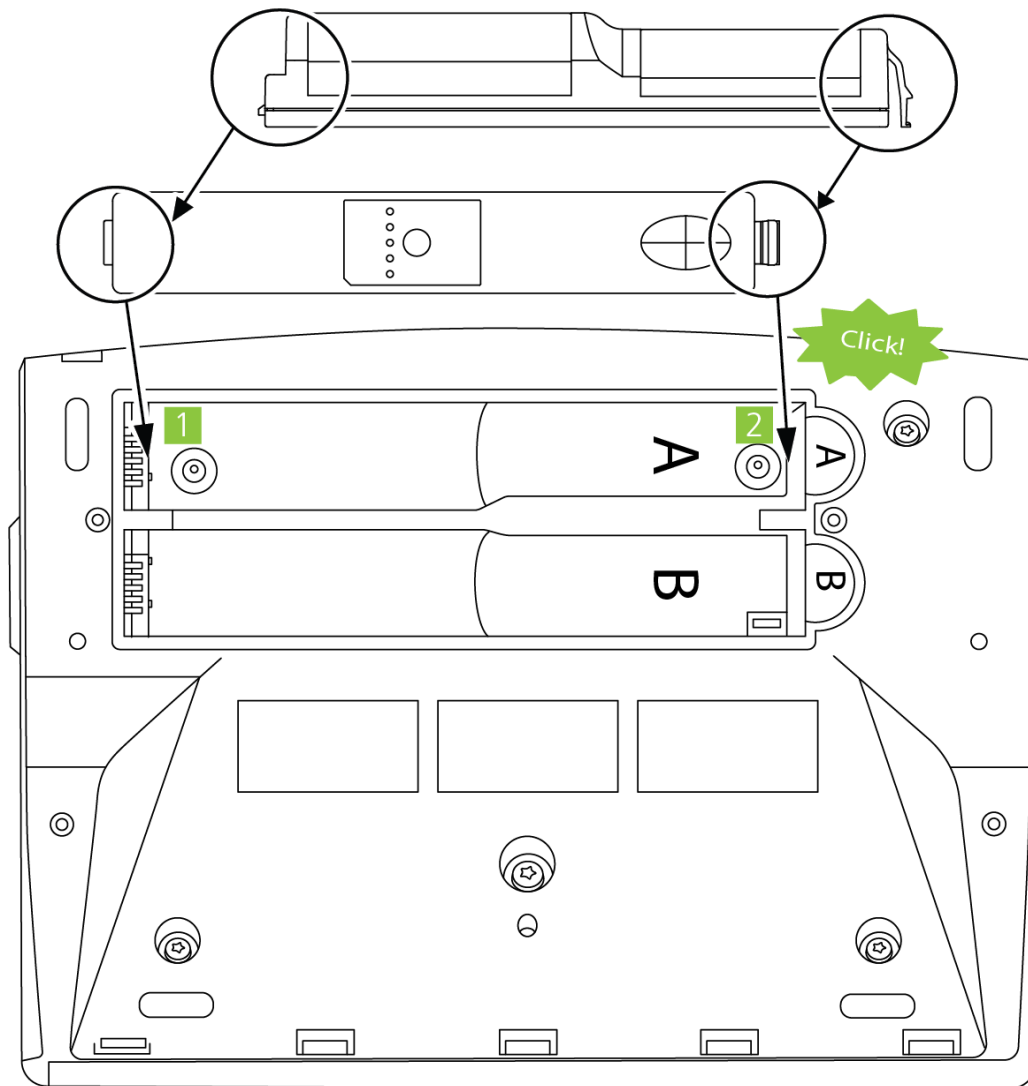


Figure 1-14 ワイヤレスユニットへのバッテリーパックの入れ方

1. バッテリーの突起部を先に差し込みます。
2. 次に、バッテリーのクリップ部を、ツメ部のクリック音がするまで押し込み固定します。



挿入したバッテリーの向きが正しいことを確認してください。バッテリーが正しく挿入されていると、容量LEDが表示されます。バッテリーの先端のクリップは、電池スロット表示A/Bのところにあります。

バッテリー充電器

バッテリー充電器はConfidea FLEX G4ワイヤレスユニットのバッテリーパックを充電するためのものです。

コントロールとインジケータ

バッテリー充電器の内容:

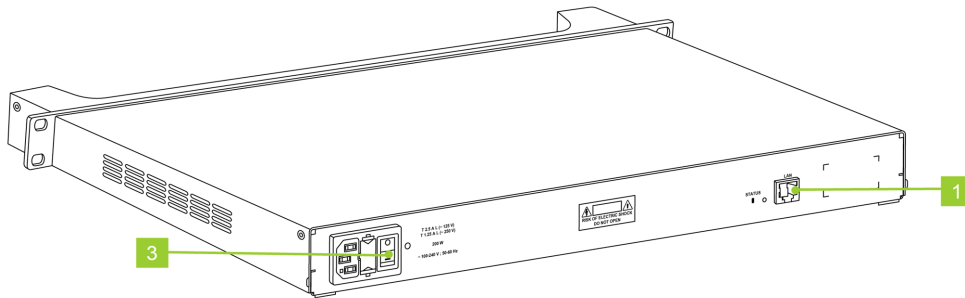


Figure 1-15 バッテリー充電器の背面

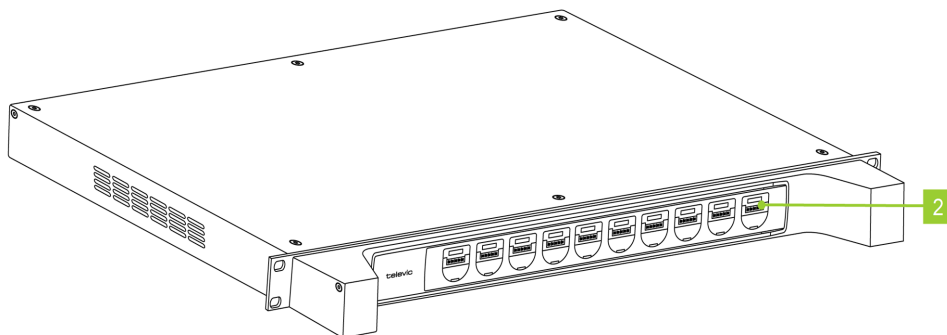


Figure 1-16 バッテリー充電器の前面

1. **LAN:** PC とのLAN接続
2. **充電用スロット+ 充電用LED:** 充電スロットはバッテリーパックを充電するために収納する場所であり、充電LEDはバッテリーの充電過程を表示します。
3. **電源スイッチ:** バッテリー充電器は、背面の電源スイッチでオン/ オフの切り替えができます。

充電LED

各充電スロットには、バッテリーの充電状況を示す専用の充電LEDが搭載されています。

充電LED	バッテリーの状態
緑色に点灯	バッテリーは満充電
赤色に点灯	バッテリー不良
緑色に点滅(弱い)	バッテリーは充電されていますが、バッテリー残量が75%未満です。
緑色に点滅(強い)	バッテリーは充電中で、バッテリー残量は75%以上です。
オレンジ色に点滅(すべてのLED)	充電器の更新作業が進行中です。
白色に点灯	充電はオンになっていますが、バッテリーが挿入されていません。

バッテリーパックの充電

バッテリーパックを充電するには、まず充電器のスイッチを入れてからバッテリーパックをいずれかの充電スロットに挿入します。充電LEDは、充電中であることを示します。充電LEDが緑色に点灯したら、バッテリーパックの充電が完了したことになります。その後、充電スロットからバッテリーパックを取り出してください。



完全に充電されたバッテリーは、いずれかのコンポーネントを損傷することなく、バッテリー充電器に残っている可能性があります。

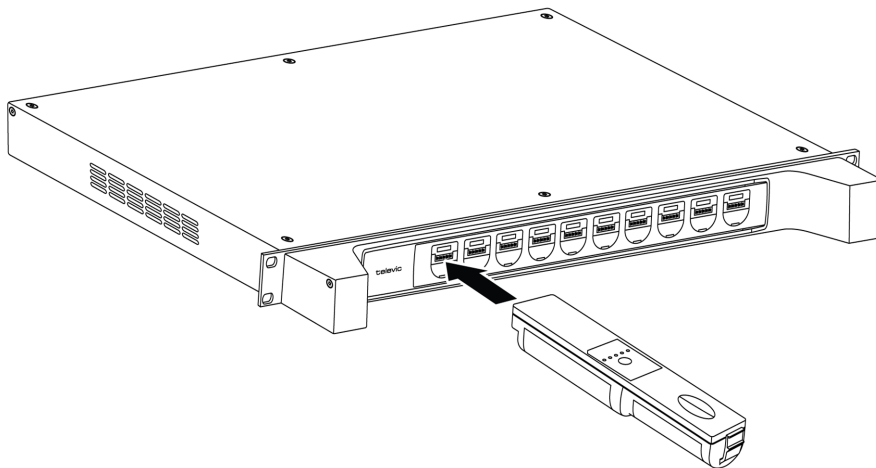


Figure 1-17 バッテリー充電器にバッテリーパックを挿入しているところ



Confideaバッテリーパックの充電は、指定の充電器以外では行ってはいけません。

マイク

はじめに

ワイヤレスユニットには、Confidea PLM401F(40cm) 着脱式マイクロホン(マイク)をご使用ください。このマイクは、雑音環境下でも最適な性能を発揮する単一指向性で、携帯電話からのRF干渉の影響を非常に受けにくくなっています。

電気特性・音響特性

パラメータ	値
トランスデューサーの種類	バックエレクトレット(コンデンサー)
動作原理	圧力勾配
極性パターン	単一指向性
公称インピーダンス	バイアス抵抗 = 1k Ω Vdd = 3.3 V DC, SPL = 1 Pa
最大SPL 1kHz	110 DB SPL (1% THD+N)
信号対雑音比	>67 dB(A)
自由音場感度	9.4 mV/Pa, ± 3 dB @ 1 kHz または (-40.5 dB, 0 dB = 1 kHz あたり 1 V/Pa)
電源	3.3 V DC, 0.5 mA
消費量	0.5 mA (LED リングなし) 最大 25 mA (LED リングあり)

マイクロフォンコネクター

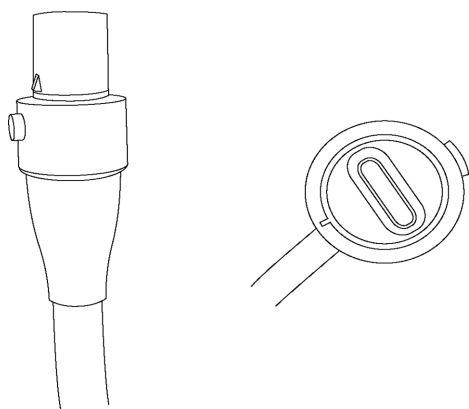
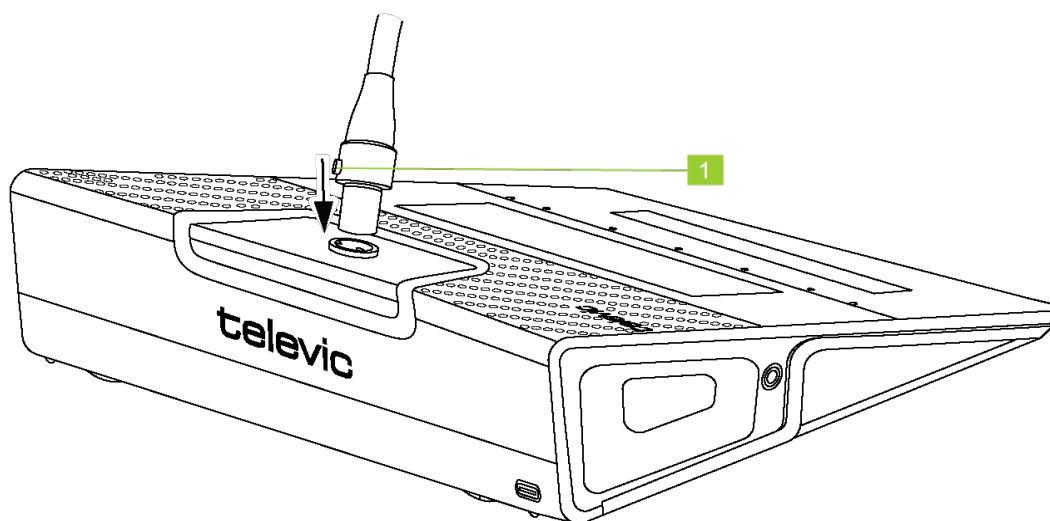


Figure 1-18 マイクロフォンコネクター

インストール



本体に接続しているマイク

マイクのリリースボタン(1)が後方にあることを確認し、マイクのコネクタに挿入してください。マイクはリリースボタンを押すことで取り外すことができます。

番号	名称	説明
1	リリースボタン	このボタンを押すと、マイクを本体から取り外すことができます。

操作方法

マイクには以下の要素が含まれています。


- ＞ **インジケータリング**: マイクの状態を表示します。
- ＞ **プラグ**: 取り外し可能なマイクを本体に取り付けるためのものです。
- ＞ **リリースボタン**: マイクを本体から離します。

マイク表示リングの色は、マイクの状態を示しています。以下の色はデフォルトです。設定により、表の情報が変わる場合があります。これらの設定の変更方法については、Conferoマニュアルを参照してください。

色	状態
赤色に点灯	マイクが作動しています。
緑色に点灯	マイクはリクエスト中です。
緑色に点滅	マイクはリクエスト中で、次の最初のスピーカーです。

その他の機器

ケーブル

ネットワークケーブル	シールドCat5eイーサネット  ケーブルの長さは最大100mまでにしてください。
WAP電源 ケーブル*	PoE+ または PoE パッシブ

*ケーブルの購入については、Televic Conferenceにお問い合わせください: conference@televic.com / +32 51 30 30 45

WAPと連動する機器

ノートパソコンやPCを使用して、**WAP**および**ワイヤレスユニット**と連動、設定します。Webサーバーにアクセスし、デフォルトのIP 192.168.0.110とサブネットマスク255.255.255.0を使用します。

無線ネットワークと周波数帯

無線LAN

無線LANは、IEEE802.11ac規格に準拠しております。この規格は、異なるWLANベンダー間の相互運用性を保証するために、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers) によって開発されました。

802.11規格	リリース日	周波数(GHz)	最大ビットレート(Mbits/sec)	変調方式
Wi-Fi 5 (ac)	2013	2.4/5	1300	OFDM

Table 1-1 無線LAN規格



2.4GHz帯、5GHz帯は世界的にライセンスフリーな帯域ですが、各国の制限に注意し準拠する必要があります。

TELEVIC CONFIDEAワイヤレスシステム

Televic Confideaワイヤレスシステムのワイヤレスネットワークは、802.11 ac規格に準拠しています。

802.11 ac規格の上にさらにプロトコルを追加し、他の無線機器からの干渉に対して高い堅牢性を実現しています。また、これらの追加プロトコルは、無線ネットワーク上のオーディオストリームのサービス品質を保証するものです。

周波数帯域

機器を購入する際には、地域を限定して行わなければなりません。他の地域から機器を購入することは不可能であり、また許可されていません。地域ごとに、端末が放送できる特定の周波数について規則があります。地域内の国を選択することで、その国で利用可能な周波数を最適化することができます。北米と日本は例外です。特定の国を選択することで、その国の法的要件にも準拠した機器となります。

全部で6つの地域があります。**Confideaワイヤレスシステム**には、以下の地域と国が含まれます。

＞ 地域1(EME):

- ＞ オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、オマーン、カタール、トルコ、UAE、サウジアラビア、カザフスタン、ロシア、ベラルーシ、コソボ、ウクライナ、アルバニア、セルビア、モンテネグロ、バーレーン、アルメニア、ジョージア

＞ 地域2(北米): この地域は確定しています。国指定はできません。

- ＞ 米国、カナダ

＞ 地域3(APAC):

- ＞ オーストラリア、中国、香港、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ

＞ 地域4(日本): この地域は確定しています。国指定はできません。

- ＞ 日本

＞ 地域5(アフリカ+ その他の地域):

- ＞ エジプト、エチオピア、ケニア、モロッコ、ナイジェリア、南アフリカ、チュニジア、アルジェリア、コートジボワール、モーリシャス、ウガンダ、セネガル、タンザニア、アゼルバイジャン、イラン、ヨルダン

＞ 地域6(南米):

- ＞ メキシコ、アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ジャマイカ、パナマ、ペルー、プエルトリコ、ウルグアイ、ベネズエラ、フランス領ギアナ、ホンデュラス、パラグアイ、ニカラグア

Confideaワイヤレスシステムは、地域ごとに以下の周波数帯に対応しています。

チャンネル	周波数	EME	北米	アジア太平洋	日本	アフリカ+その他の地域	南米
1	2412 MHz	√	√	√	√	√	√
6	2437 MHz	√	√	√	√	√	√
11	2462 MHz	√	√	√	√	√	√
36	5180 MHz	√	√	×	√	√	√
40	5200 MHz	√	√	×	√	√	√
44	5220 MHz	√	√	×	√	√	√
48	5240 MHz	√	√	×	√	√	√
52*	5260 MHz	√	√	×	√	×	√
56*	5280 MHz	√	√	×	√	×	√
60*	5300 MHz	√	√	×	√	×	√
64*	5320 MHz	√	√	×	√	×	√
100*	5500 MHz	√	√	×	√	×	×
104*	5520 MHz	√	√	×	√	×	×
108*	5540 MHz	√	√	×	√	×	×
112*	5560 MHz	√	√	×	√	×	×
116*	5580 MHz	√	√	×	√	×	×
120*	5600 MHz	×	×	×	√	×	×
124*	5620 MHz	×	×	×	√	×	×
128*	5640 MHz	×	×	×	√	×	×
132*	5660 MHz	√	√	×	√	×	×

チャンネル	周波数	EME	北米	アジア太平洋	日本	アフリカ+その他の地域	南米
136*	5680 MHz	√	√	×	√	×	×
140*	5700 MHz	√	√	×	√	×	×
144*	5720 MHz	×	√	×	×	×	×
149	5745 MHz	√	√	√	×	×	√
153	5765 MHz	√	√	√	×	×	√
157	5785 MHz	√	√	√	×	×	√
165	5825 MHz	√	√	×	×	×	√
169	5845 MHz	√	√	×	×	×	×
173	5865 MHz	√	√	×	×	×	×

* これらのチャンネルはDFSチャンネルです。ダイナミック周波数選択 (DFS) チャンネルは、レーダーで使用することができます。DFSチャンネルがレーダーで使用されているときは、そのチャンネルでの放送は禁止されていますが、DFSチャンネルが使用されていないときは、そのチャンネルでの放送が許可されます。時には使用できないこともあるので、少なくとも1つの非DFSチャンネルを常時使用できるようにする必要があります

WAPに無線ユニットを接続する

デフォルトでは、WAPは自動的にすべてのユニットに接続を許可します。緑のLEDが点滅している状態です。マイクボタンを押しながらユニットを起動すると、自動的にWAPに接続されます。

他のユニットをWAPに接続させたくない場合は、WAPの上部にあるボタンを押します。これにより、既知の接続ユニットのみが接続されます。この場合、緑色のLEDが点灯します。

新しいユニットを追加する場合は、もう一度ボタンを押すと、すべての新しいユニットがWAPに接続されます。緑のLEDが点滅している状態です。

WAPの上部にあるボタンを3秒以上長押しすると、ユニットのリストが消去され、すべてのユニットが接続できるようになります。

LED表示

WAPのLED	LEDの意味
緑・点灯	以前接続したConfidea G4ユニットのみ、WAPとの接続を許可されています。
緑・点滅	すべてのConfidea G4が接続を許可されています。

CONFIDEA WAPの取り付け

Confidea WAPの取り付け位置

- ▶ **WAP**を壁に取り付けるか、ワイヤレスユニットの近くの三脚に取り付けます。
- ▶ **WAP**とワイヤレスユニットの間の見通しを確保します。障害物がある場合、RF信号の強度と品質が大幅に低下する場合があります。
- ▶ トラブルシューティングの際にリセットボタンにアクセスできるようになっているか、ご確認ください。
- ▶ **WAP**を電源ケーブル、ケーブルトレイ、電気機械に近づけないようにしてください。
- ▶ 信号の品質が著しく低下するため、**WAP**を金属製の物体に近づけないでください。
- ▶ **WAP**を電子レンジから遠ざけ、Bluetooth信号を低減してください。2.4GHz帯では断続的に干渉を起こす可能性があるため、5GHz帯を推奨します。
- ▶ **WAP**を柱に設置することは避けてください。信号の「陰」となったり、信号の受信が低下したり、または受信できないエリアが発生する原因となります。



WAPは天井に近い場所に設置することができます。**WAP**は床から2m以上の高さが理想的です。ユニットは**WAP**から1m以上離して設置してください。

WAPの最大通信距離

1台の**WAP**の電波到達距離は、開けた場所で40mです。使用する**周波数**は、**WAP**の通信距離に影響を及ぼします。周波数が高い5つの帯域で徐々に到達距離は減少し、最小到達距離は25mです(最適条件時)。



コンクリートや金属など一部の建材が周波数信号の一部を吸収して、アクセスポイントとユニット間の最大到達距離が短くなる場合があります。

Confidea G4 WAPの設置

1. PoE+ ケーブルを差し込みます。
2. PoE+ ケーブルを、PCまたはネットワークに接続されている電源に接続します。

3. **WAP**のスイッチをオンにします。白色LEDが点滅を始めたら、システムが起動していることがわかります。
4. LEDが緑/青に変わり、安定して点灯したり、点滅したりしている場合、デバイスがアクティブになっています。
5. これで、マイクボタンを押すことでデバイスの電源を入れることができます。



LEDが緑/青にならない場合、または赤になる場合は、[お近くのサポートチーム](#)にご連絡ください。

TELEVIC CONFERENCE

Leo Bekaertlaan 1

8870 Izegem

Belgium

+32 51 30 30 45

GET IN TOUCH

